

「サイバーセキュリティ月間」記念

第18回セキュリティセミナーのご案内

*とき : 令和 6年 2月 2日 (金曜日) 13:00 (12:30~接続可能) ~17:20
*ところ : ときめいと (現地参加を希望される方 (最大100名程度迄 (予定)) 及び
オンラインセミナー ((最大500名程度迄) メールで申込頂いた方に参加ID等の情報を受け付け
処理後発送します。)

*第一部 (13:10~14:40)

講師 : 総務省サイバーセキュリティ統括官室 企画官 講師 佐藤 輝彦 様
演題 : 「総務省におけるサイバーセキュリティ政策の最新動向」(仮題)

*第二部 (14:50~17:20)

講師 : 須川 賢洋 (スガワ マサヒロ) 先生
演題 : 「情報セキュリティに関する法律と課題」

*募集人員 : 600名 (リアル講義100名+リモート講義500名) まで
(若い方からお年寄りの方まで幅広い年齢層を募集しております。また、リモート講義は国内におけるエリアを問わず受講の応募をお待ちしております。)

=事前にメールでお申し込みが必要です。=

*参加費 : 無料

*第二部講師プロフィール



☆ 新潟大学 大学院現代社会文化研究科, 法学部 助教 (専門: 情報法, 情報セキュリティ)
☆ 情報処理学会 電子化知的財産・社会基盤研究会(EIP) 幹事
☆ 特定非営利活動法人 新潟情報セキュリティ協会 (ANISec) 理事
☆ 近著 (共著)
『~法律構成の違いがわかる!~依頼者の属性別 弁護士が知りたいキャッシュレス決済のしくみ』(第一法規), 『基礎から学ぶデジタル・フォレンジック』(日科技連) など

☆ 論文

「セキュリティの観点から見た情報法の変遷と課題」『情報処理 2023年12月号』
「メタバース (仮想空間) の法律問題再考」『情報処理学会研究報告 2023-EIP-101(11)』
「自動運転の法律問題」『情報処理 2022年1月号』 など

☆ 受賞 情報処理学会 山下記念研究賞 (2015年) 「3Dプリンタの法的問題序説」にて

*講演内容

- (1) 情報セキュリティやICTに関する法律について、有体物を対象とする通常法と無体物(データ)を対象とする情報法の違いの観点から解説します。最近の法改正点についても紹介する予定です。
- (2) (独)情報処理振興機構(IPA)が毎年発表している「情報セキュリティ10大脅威」についても紹介します。

*主催 : 特定非営利活動法人 新潟情報通信研究所、信越情報通信懇談会

*共催 : 総務省 信越総合通信局

*後援 : 新潟大学 工学部工学科 知能情報システムプログラム、事業創造大学院大学、
開志専門職大学、特定非営利活動法人 新潟情報セキュリティ協会 (ANISec)、燕市

*参加申し込み (ホームページ http://www17.plala.or.jp/npo_niigata-icl/ もご覧下さい)

: メール npo_niigata-icl@sky.plala.or.jp (担当 高橋)

: メール niigata.icl.npo@gmail.com (担当 高橋)

どちらかのメールアドレスにお申し込み下さい、お問い合わせもメールで!